

第3章 アンケート調査の結果



アンケート調査の結果

1 保護者アンケートの結果

(1) 内容と方法

第3回つながりミーティングの事例対象児童生徒の検証の一環として、在籍児童生徒の保護者を対象とした「生涯にわたる豊かな学び」に関するアンケート調査を実施した。なお、回答率は全校児童生徒数の87.2%であった。

(2) 結果

各調査項目の回答の一部を抜粋したものが、以下の通りである。なお、全回答をテキストマイニング分析ツール「ユーザーローカル AI テキストマイニング」により分析した。その際、出現頻度が高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさを図示する「ワードクラウド」の結果を図で示した。

項目1：お子さんが最近、家庭や地域で楽しんでいること、頑張っていることを教えてください。

- ・家庭でお手伝いを率先してやろうという姿が増えてきました。例えば、洗濯物(特にタオル)を畳もうとか、食事の配膳などをとても頑張っています。
- ・料理 (特にスクランブルエッグを作ることがマイブームのようです。)
- ・水泳を習っていて出来ることが増えてきています。また、プールで一緒になる地域の子供達にも慣れてきています。
- ・地域の人との交流はないが、家ではユーチューブを見たり、ゲームをしたりして楽しんでいる。
- ・家の掃除機かけや洗濯を頑張ってくれています。また、ゴミ収集のカレンダーを見て分別してゴミ袋に入れて、指定の曜日に捨てに行ってくれます。 など

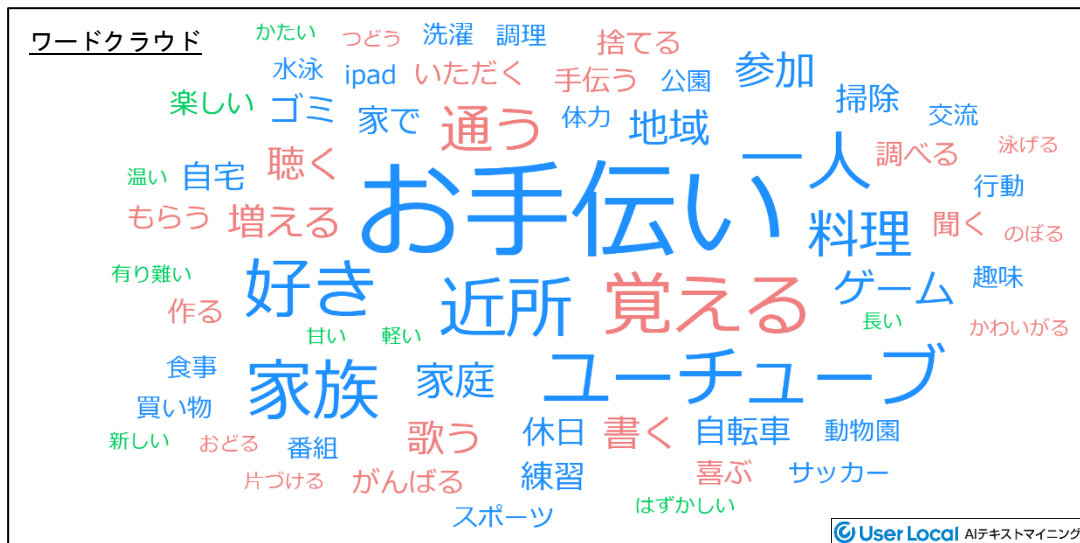


図1 家庭，地域で楽しんでいること，頑張っていること（項目1）

項目2：お子さんを見て、「学校での学びが他の場面に生かされている」「家庭や地域での学びが、学校で生かされている」と感じたことがあれば、教えてください。

- ・学校でのトイレトレーニングのおかげで家でのトイレもスムーズにいけている。また、当番活動などを行っているからか、お手伝いも進んでやる日が増えたように感じる。
- ・誰にでもあいさつしたり、声をかけたり、疑問に思ったことは質問したりと、人とのかわりが大好きで、学校で学んでいると思っています。
- ・進んでお手伝いをする事(人の役に立とう、喜んでもらおうとする)や、自分でやろうとすること(着替え、食事など)。
- ・修学旅行でSuicaを使って電車を利用したことで、家族旅行の際も活用している場面を見たとき。
- ・サッカー部に入ったことで、休みの日も公園でサッカーをやりたいがるようになった。 など

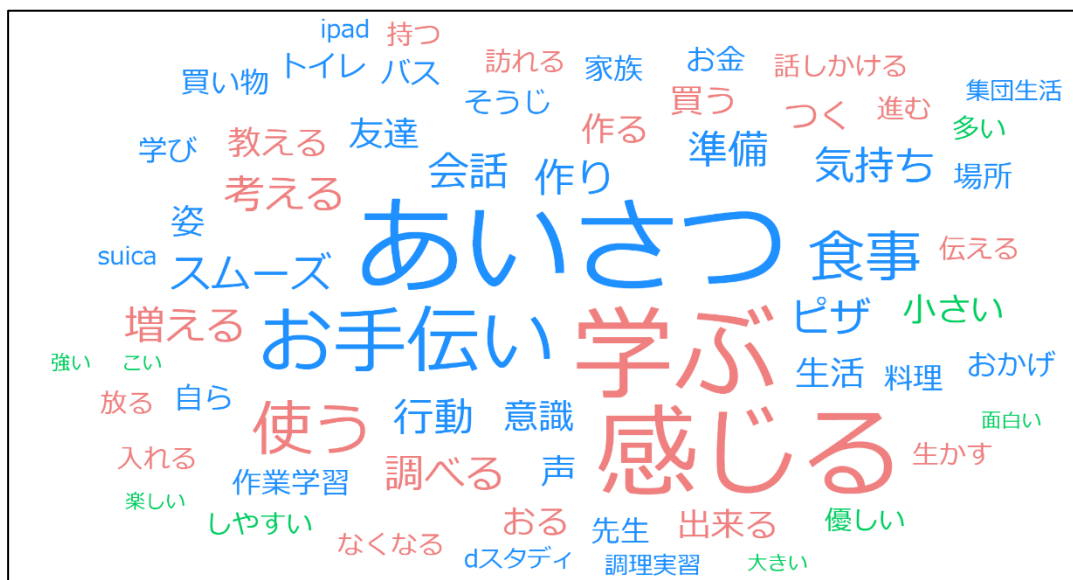


図2 学校での学びが他の場面に生かされていること等（項目2）

項目3：卒業後のお子さんのどんな姿を望んでいますか。また、現在お子さんに身に付けてほしい力があれば、教えてください。

- ・自分の役割を果たしながら、好きなことを見付け、毎日の暮らしを明るく過ごしてほしい。
- ・自分の好きなことがあって、夢中になれるものがある毎日。
- ・ベースになる居場所があって、その他に地域にたくさんの知り合いや、なじみの場所がある。
- ・集団の中でがんばれる力と楽しいことを見つけていける力がついたら嬉しい。
- ・働いて得たお金で本人の趣味等、余暇を過ごすことができれば良いと思っています。
- ・困った時に臆することなく周りへ助けを求められるようになってほしい。
- ・人前で自信をもって話せるか、責任感のある行動、最後まで業務に取り組むこと。

など

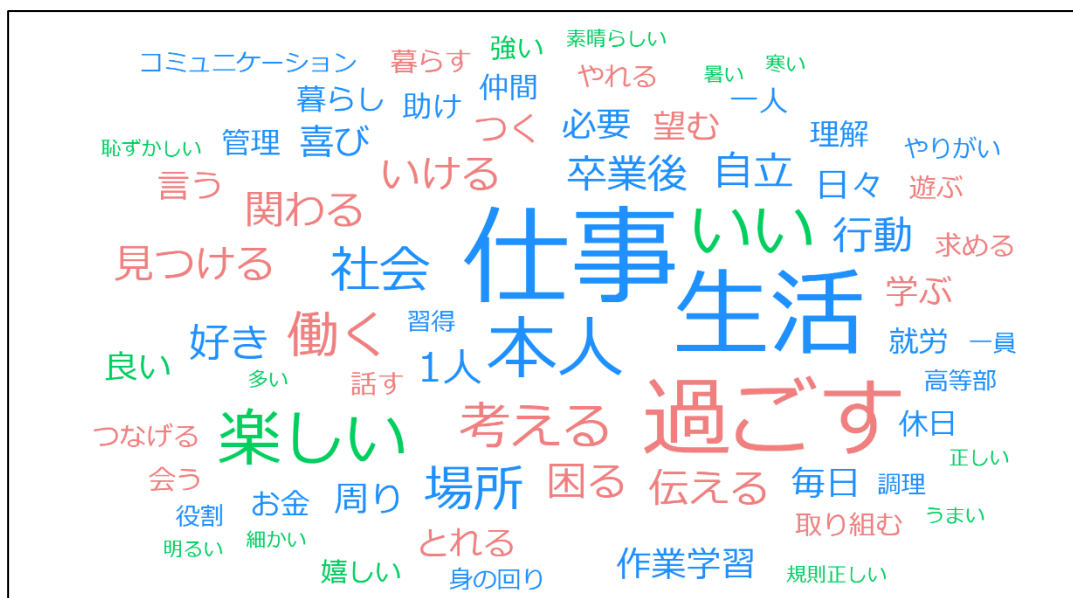


図3 卒業後の望む姿、身に付けてほしい力（項目3）

2 卒業生アンケートの結果

(1) 内容と方法

「生涯にわたる豊かな学び」について卒業生とその保護者に対するアンケート調査を実施した。「私の応援計画」に関する研究を始めた平成26年度以降の卒業生を対象として、紙面でのアンケートを依頼し、回答を求めた。なお、回答率は対象とした卒業生の53.3%であった。

(2) 結果

各調査項目の回答をグラフ化し、表で示すとともに、自由記述による回答は、テキストマイニング分析ツールである「ユーザーローカルAIテキストマイニング」により分析した。その際、出現頻度が高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさで図示する「ワードクラウド」の結果を図に示した。

①卒業生

項目1：卒業後、学び続けている学習があるか？（表1）

項目2：どんな学習を続けているか？（図5）

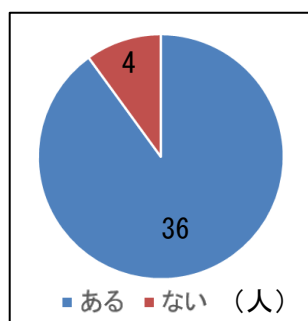


表1 卒業後の学びの有無

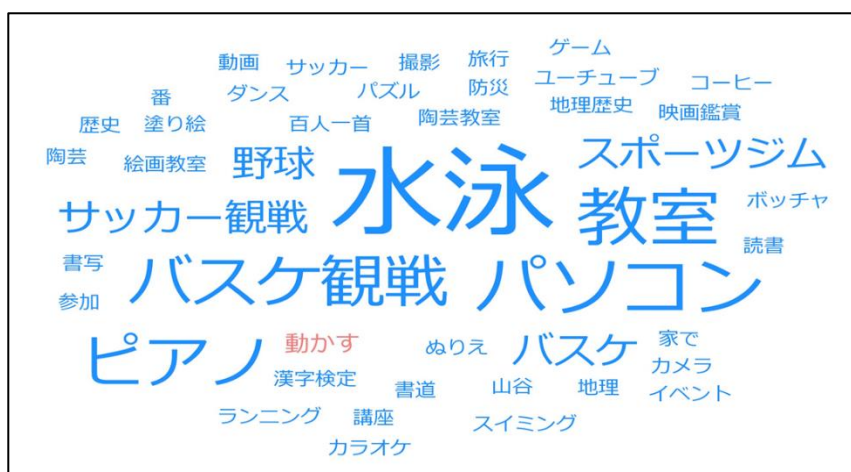


図5 卒業後の学びの内容

項目3：学習を続けている理由は？（表2）

- 1 様々な経験を通して成長するため
- 2 健康のため（2位）
- 3 仕事に必要
- 4 友達との交流
- 5 ボランティア活動に生かす
- 6 人生を豊かにするため（3位）
- 7 やっていて楽しい（1位）

(人)

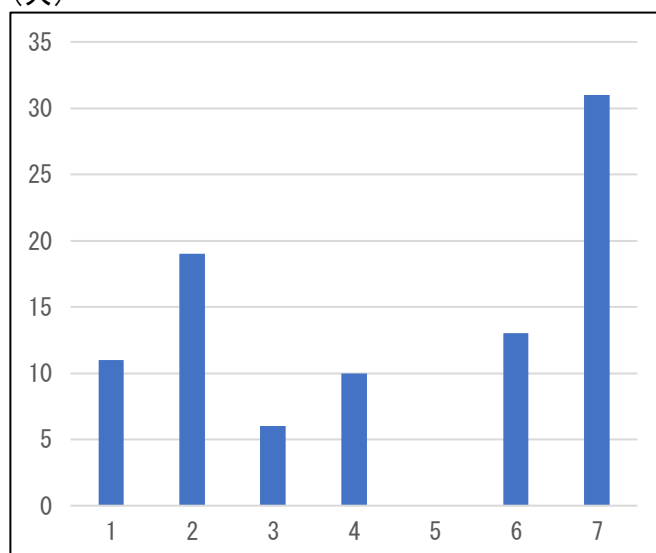


表2 学習を続けている理由

項目4：学ぶ機会や情報が近くにあるか？

（表3）

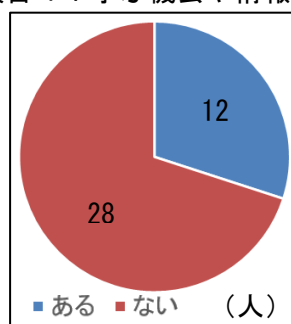


表3 学びの機会、情報の有無

項目 5 : 卒業後, 学びたいときに困ること?

- 1 学習に関する情報がほしい (1位)
- 2 学習の機会がほしい (2位)
- 3 学習をする時間がほしい
- 4 友人や仲間の存在がない
- 5 社会の理解がほしい (3位)
- 6 学習をするお金の余裕がない
- 7 交通手段がない

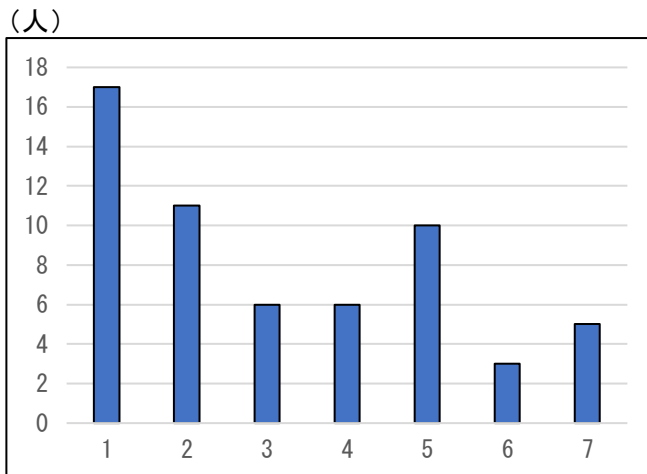


表 4 学びたいときに困ること

項目 6 : 卒業後, 役に立った学校での学びは?

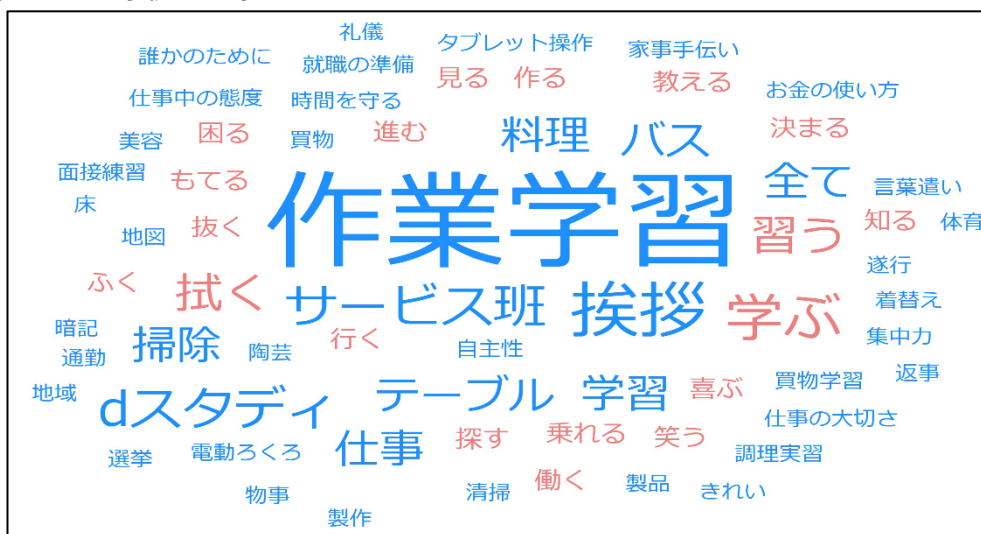


図 6 卒業後, 役に立った学校での学び

②卒業生の保護者

項目 1 : 卒業後, 新たに興味をもったことや始めたことは?

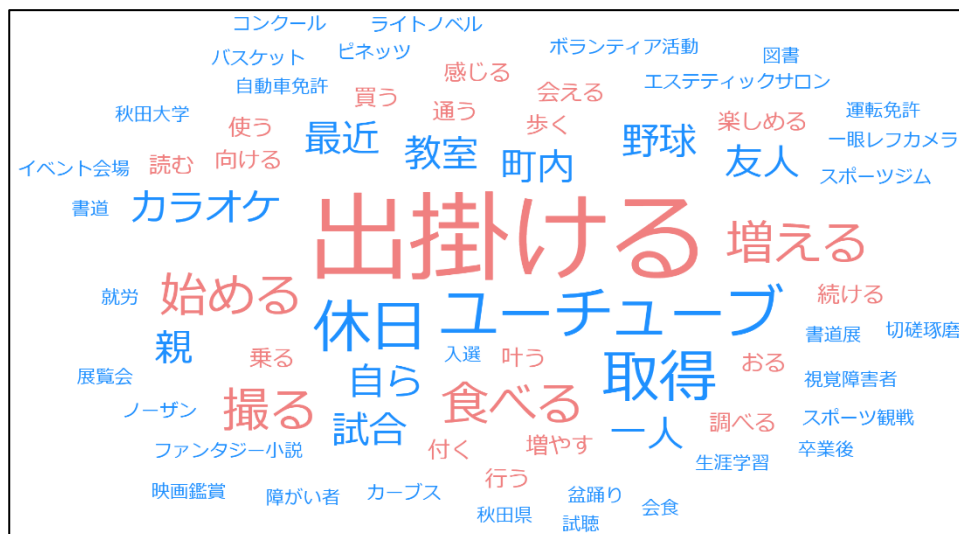


図 7 卒業後, 新たに興味をもったこと, 始めたこと

項目 2 : 卒業後の生活に役立っている学校での学びは？

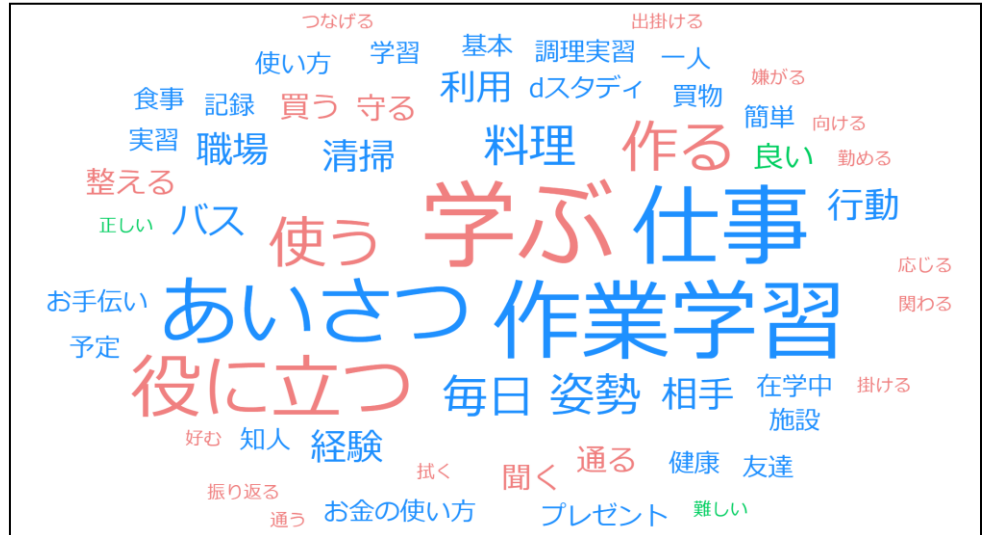


図 8 卒業後の生活に役立っている学校での学び

項目 3 : 就労先以外で利用している地域の場合は？

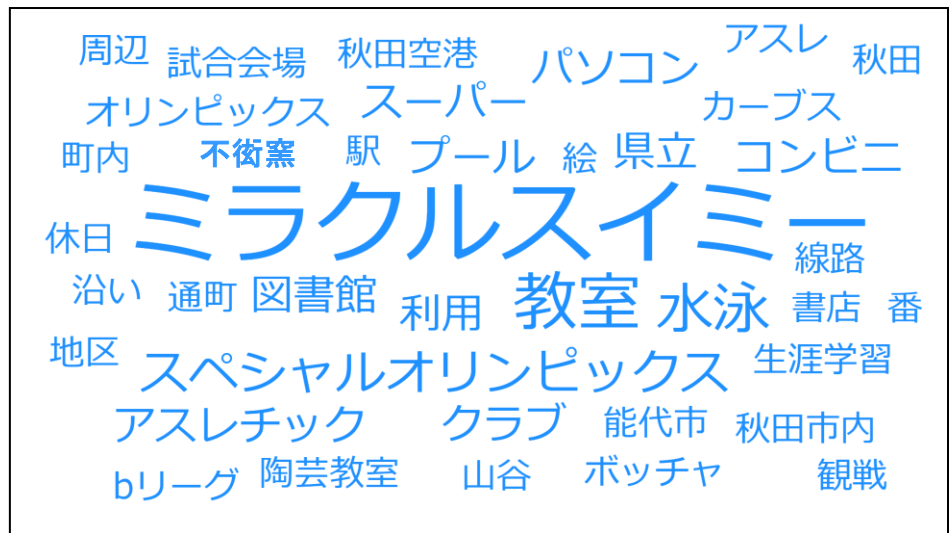


図 9 就労先以外で利用している地域の場合

項目 4 : こんな場所があったらいいな？

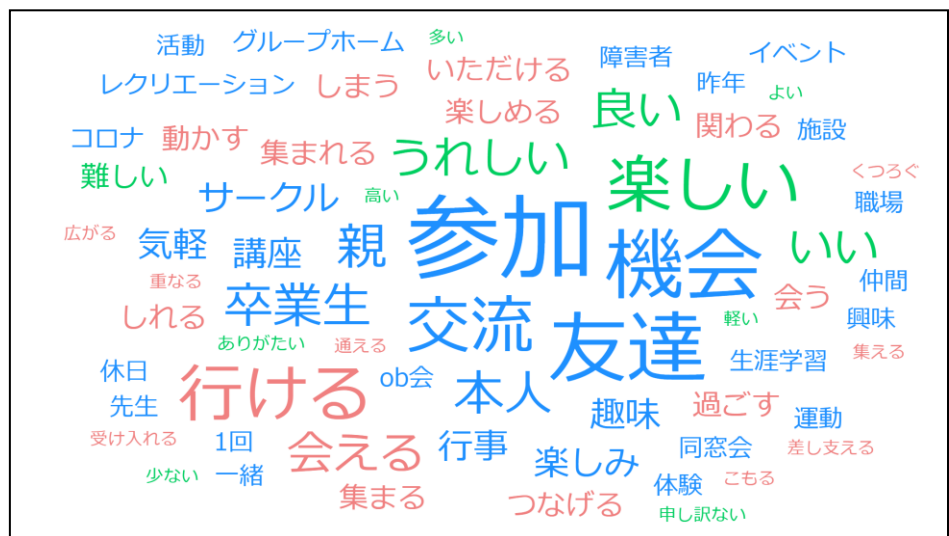


図 10 あったらいい場所

3 アンケート調査結果の考察

(1) 在校生の保護者アンケート結果の考察

- ・項目1から、多くの児童生徒が家庭でのお手伝い等の家族の一員として各家庭の実情に合わせた様々な役割に取り組んでいることが分かった。その際、学校で学んだ掃除や調理等の学習の経験が生かされていた。更に、校外学習での公共機関の利用や買物学習の機会は、休日に地域の中で楽しむことにつながっていることが推察された。
- ・項目2から、挨拶や会話等のコミュニケーションに関わる学びが多くの場合で生かされていることが分かった。また、学校での学びが食事や排泄等に関わる日常生活動作や、お金を使用する買い物や公共機関の利用等に般化されていることも伺えた。そして何より、般化される場面では、自分で考えたり、調べたりする主体的な姿が多く見られていることが推察された。
- ・項目3から、多くの保護者が卒業後は、本人に合う仕事を見付け、働いてほしいと考えていた。また、楽しい生活を送るために、自立するための力を身に付けることや、自分の居場所を見付け、困ったことを伝えるなどのコミュニケーション能力を育ててほしいと挙げていた。これは、「働く」、「暮らす」、「楽しむ」の3つの視点について更に広げ、深めてほしいと願っていると言える。
- ・項目4から、保護者は生涯にわたって学び続けるためには、学ぶ機会や本人をサポートする周りの環境が最も大切であると考えていた。また、本人の興味関心や好奇心などのチャレンジ精神が必要であると挙げていた。そのためにも健康で素直な心を持ち、楽しい経験を積むことや失敗から立ち直る力（レジリエンス）が必要と考えていた。

(2) 卒業生アンケート結果の考察

- ・項目1, 2から、回答した多くの卒業生が現在も学びの機会をもっていることが分かった。水泳やピアノ、パソコン等を多く学んでいた。また、スポーツ観戦をしたり、スポーツジムを利用したりする卒業生も多くいた。
- ・項目3から、学習を続けている理由は「やっていて楽しい」「健康のため」「人生を豊かにする」の順で回答が多かった。中でも「やっていて楽しい」の回答数は、2番目に多い理由の「健康のため」よりも10以上も多いことから、本人のやりがいや達成感は、学びを続ける理由として重要であると推察された。
- ・項目4, 5から、学ぶ機会や情報は本人の身近にはなく、学習に関する情報や機会を求めていることが分かった。
- ・項目6から、卒業後に一番役に立った学校での学びは、作業学習を多く挙げていたことが分かった。これは、日々の挨拶や返事、時間を守る等、基本となる自主性や責任感を学校で学んだと推察された。更には、料理や清掃、タブレット操作等のスキル面と、工作中的の態度や言葉遣いなどの態度面が役に立った学校での学びとして挙げられた。

(3) 卒業生の保護者アンケート結果の考察

- ・項目1から、卒業後に新たに興味をもち始めるために、家庭から出掛け、地域資源を活用していることが分かった。また、家庭でユーチューブを見るといったことも多く挙げられた。
- ・項目2から、卒業生の保護者が考える生活に役に立っている学校の学びは、作業学習などの働くための学習であった。また、挨拶をしたり、手伝いとして料理や掃除をしたりする等、人のために働き、役割を果たすことが生活に役立っている学校の学びとして多く挙げられた。
- ・項目3から、水泳に関わる地域の場を多く利用していることが分かった。また、図書館や本屋、駅や公共施設等を利用していることが分かった。在籍時に利用していた地域の場を卒業後も引き続き利用している卒業生が多くいることが推察された。
- ・項目4から、友達や卒業生と一緒に交流できる機会を求めていることが分かった。